

2008年9月15日発行

# エコ・リサ通信

第64号

特定非営利活動法人 埼玉エコリサイクル連絡会広報

## 宇宙からエコを考える！

2008年8月22日（金）第15回の研修見学会が行われ一般県民および会員22名が参加し(株)水海道産業 石下工場と宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センターを見学しました。

水海道産業では「自然にやさしいリサイクル」として工場や建設現場などから排出される様々な産業廃棄物をリサイクルしています。環境に負担を与えない環境にやさしい企業として、廃ガラスから「クリスタルストーン」になる工程を見学。地球温暖化防止のために、最少エネルギーで製造していました。

筑波宇宙センターではN-1からH-II Bロケットの模型と実物のエンジンに触れる事が出来る「展示フロア」、大型プール内で無重力の訓練を行う「無重量環境試験棟」、「宇宙ステーション試験棟」では船内実験室とロボットアームが作られているところを見学しました。



研修見学会関連記事  
つづきは2ページへ

### 資源循環推進課コーナー

埼玉県では川口市と春日部市を「レジ袋有料化実験モデル地域」として指定し、レジ袋の削減に取り組んでいます。

川口市では、7月30日に「川口市におけるレジ袋の大幅削減に向けた取り組みに関する協定」を事業者及び市民団体との三者協定を締結し、本年11月10日からレジ袋の無料配布中止を実施することになりました。

この取り組みに参加する事業者及び団体は次のとおりです。

#### ●事業者（12事業者19店舗）

イオン（株）、関東カンパニー（現・イオンリテール（株）関東カンパニー）、（株）イトーヨーカ堂、サミット（株）、生活協同組合さいたまコープ、（株）ダイエー、（株）ハイパーマーケット・オリンピック、（株）フードマーケット・オリンピック、（株）ベルク、（株）マルエツ、（株）ヤオコー、（株）ヨークマート、（株）与野フードセンター

#### ●市民団体（5団体）

NPO法人川口市民環境会議、川口市食生活改善推進員協議会、川口市婦人団体連絡協議会、川口ボランティア活動研究会、川口CEW女性会議

県では、今後ともごみの削減による循環型社会の構築に向け、地域におけるレジ袋の無料配布中止の取り組みを支援していきます。

## 『宇宙からエコを考える』に参加して

緑の地球（小5女子） by ママ

私は、ゴミ拾いが大好きです。ゴミを拾っていると、いろいろな疑問がわいてきます。ペットボトルのゴミ。こんなに、ペットボトルがなぜ、作られるのか？作った人は、なぜ、集めないのか？これだけ捨てられているのに、作っている人は、どうにかしようと思わないのか？私は、自分が作った物が、捨てられていたら悲しいです。それも、作った人の名前が、はっきり書いてあるのに。自分が作った物が、捨てられ、自分達が住んでいる町や川を汚しているんですよ。私だったら、恥ずかしいです。それから、ビニール袋。とっても、便利です。植物採取が好きな私は、小さなビニール袋をリュックに入れて、珍しい植物を採取します。とても便利なビニール袋が、動物達の命を脅かすものである事を知ってからビニール袋のゴミを見ると、拾わずにはいられません。葛西臨海公園のそばのゴミ拾いに参加した時、海亀がビニール袋を、くらげと見間違えて、食べて死んでしまった写真を見ました。海亀のお腹の中には沢山のビニール袋が入っていました。お腹がすいて、お腹がすいて、食べ物だと思って、むしゃむしゃ食べただけなのに、死んでしまうなんて。涙が止まりませんでした。人間にとって便利な物も管理を間違えると、取り返しのつかない事になる事を知りました。小学校1年の先生が教えてくださった『命はひとつ！どこにも、売っていない！』ということばを、思い出し



ました。学年が上がるごとに、いろいろな事を学ぶと、『命はひとつ！どこにも、売っていない！』という言葉の重さをいっそう感じます。私達人間と一緒に、地球に暮らす動物達と、共に生きていくには、どうしたらよいのかと考えていました。

今日、水海道産業さんの工場を見学させてもらい、とっても勉強になりました。私達の使っている不要になったびんが、今まで知っていた再利用と違う使い方をされていました。私は、中身が無くなったびんは、回収されて、また、利用されていると思っていました。でも、再利用されていないびんがある事を知り



ました。

そのビンを細かく砕き、カドを取ると、水槽に入れる砂の代わりになるそうです。砂よりも水槽に入れておくと、水が濁りにくいそうです。私は、父と一緒に、金魚とめだかとカブト虫を育てています。社長さんが、お土産に、細かく砕いたカドのないガラスを分けてくださいました。家の金魚達のお土産にも帰りました。今度、父と一緒に水槽の掃除をする時に利用したいと思います。楽しみです。また、加工されたガラスは、植物を育てる時の砂としても使うことが出来るそうです。透明のコップに、加工した色とりどりの加工ガラスを入れると、とっても、きれいです。

加工ガラスを、道路に使うことも出来るそうです。アスファルトより、水はけが良く、土と同じ効果があるそうです。温暖化を防ぐ、ひとつの方法になりそうで、とっても希望が



もてました。また、カラフルなガラスなので、道路に利用する際に、花の絵とか優しい気持ちになれる絵柄の道路が出来たら、学校のそばの道も、スピードを出し過ぎる車もなくな



るのではないかと思ったら嬉しくなってきました。毎朝、登校する時に通る道は、信号の無い道なので、通勤の為に使う人が多いです。細い道なのに、すごいスピードで走り過ぎて行き、怖いです。朝、忙しいと思うから仕方ないけど、優しい絵柄の入った道路が変わったら、運転手さんの気持ちも優しくなるかな？

もう一つ見学した、宇宙センターでは、いろいろな宇宙開発のお話を聞きました。不思議に思ったのが、宇宙空間で、切り離された燃料タンクは、どうなるのかしら？宇宙のごみになったりしないのかしら？

私が、母に「元荒川で、昔の人が泳いだみたい、川で、泳ぎたい。川で、魚取りをしたい！」と言うのと同じように、いつか『2000年ごろの宇宙特集』なんて番組を見ながら、



私も自分の子どもや孫に、「おばあちゃんが子どもの頃は、宇宙は、何もなくて、青い綺麗な地球が見えたよ。月の模様も良く見えたものだったわ。」と。すると、「僕も、おばあちゃんが見た、こんなにもきれいな青い地球を、この目で見たいよ。どんなにきれいだったんだろう・・・。」と、孫が私に言うのかな？

今なら、まだ、間に合うかな？私の子どもが、孫が、寂しい言葉を言わないために、今、出来る事はなんだろう？土井宇宙士がビデオで



おっしゃっていたように、宇宙開発が人の幸せのためでありますように。

日頃より環境活動に取り組んでいる参加者は、不要になったガラス瓶の再利用方法の過程を実際に見学し、砂や道路素材に生まれ変わることを知りました、今後の地区でのごみの分別などに活かせればと思います。

また、身近なごみと宇宙のごみを比較し、切り離された燃料タンクの行方や機材の軽量化、地球上で問題になっている燃料など、それぞれの立場から宇宙からエコを考えるきっかけになったと思います。

\* インタビュー \*

今回参加した小学生の鳥家航一郎君は、切り離された燃料タンクなどがごみとなり落ちるのは、ブラックホールならいいけれど、砂漠にはラクダがいるし、海には魚がいる、簡単に捨てるのはいけない事だと真剣な眼差しでした。

報告 宮田尚美

イオマス」を最大限利用して「地球温暖化の

## 資源循環委員会

### 「バイオマスタウンでまちづくり」

#### 「バイオマスタウン」って何？

内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省の1府6省で閣議決定された「バイオマス・ニッポン総合戦略」の中で、これからの日本のあり方を示した具体的な施策です。

#### 「バイオマス」って何？

「生物由来の有機性資源」のことです。具体的には家庭からの生ごみ、飲食店からの食べ残し、調理残さ、食品工場での加工残さ、期限切れ食材や家畜の糞尿や下水汚泥、稲わらやもみがら、剪定枝や落ち葉、林野での切捨て間伐材などをいいます。年間3億2000万tもの量が毎年発生しています。



#### バイオマスタウンって何をするの？

市町村が地域の住民や地元の関係者との協議会をもって、具体的目標を定め、その地域にあったバイオマスタウン構想を策定します。それに沿って地域のバイオマス関連事業者、住民、自治体が連携して実際に行動を起し、事業化することを国が支援します。

#### なぜ、いまバイオマスなの？

今までは物を大量生産、大量消費、大量廃棄してきた社会で、その結果、自然の浄化能力を超え、地球温暖化、廃棄物処分場不足、ダイオキシンなど有害物質による健康不安、化石資源枯渇による経済の混乱など、このままでは健全な社会が維持できない。そこで「バ

防止」「循環型社会の形成」「戦略的産業の育成」「地域の活性化」を図ろうとしています。

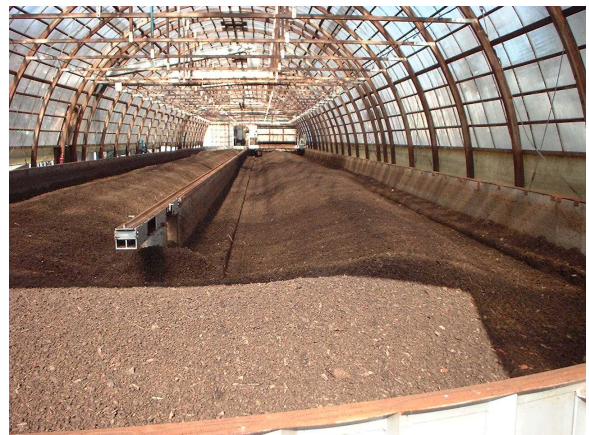
#### どうして、地球温暖化防止に役立つの？

バイオマスは生物由来の有機性物質なので、自然界でそのままに放置していても分解して二酸化炭素などが発生します。その二酸化炭素はもともとは自然界の中にあつたものを光合成などで生物体内に取り入れたものを自然界に戻しているだけです。このように自然界では炭素循環が成立しているので、バイオマスの利用による二酸化炭素発生は自然界の循環に影響しません。これをカーボンニュートラルといいます。化石燃料（石油、石炭など）の使用を少なくする事で、地球温暖化防止に役立っています。

#### バイオマスタウンは具体的には

##### どのような街？

さまざまな取組がなされていますが、家庭からの廃食用油を回収してバイオ燃料に変換して市バスなどに利用したり、家庭からの生ごみを分別回収して、堆肥、土壌改良材に変換して公園や空き地の緑化事業に利用したり、木くずからバイオガスを取り出して、電気や熱に変換し、温浴施設に利用したりと、地域住民が主役となった仕組みが各地で活発になっています。



東京都有機農業センターの堆肥化施設



### 誰がこの町はバイオスタウンと決めるの？

市町村が策定したバイオスタウン構想書を、国のバイオマス・ニッポン総合戦略推進会議がチェックして、基準に合致していればその地域のバイオスタウン構想として公表されます。

### バイオスタウン構想策定のメリットは？

地域の意見をまとめた構想を示す事で、その方向に向けて関連事業者が相互に連携して、地域社会を共に構築して行くことができるメリットがあります。

### バイオスタウンは都市では不要では？

都市部でも下水汚泥や生ごみ、建設発生木材など廃棄物系バイオマスが多く発生します。これらのバイオマスの利活用を廃棄物行政と連携し、地域一体となって進めていく事が必要になっています。大都市の愛知県名古屋市もバイオスタウン構想の公表をしています。

### バイオスタウン構想の状況は？

全国で151市町村がバイオスタウン構想を策定し、公表しています。国では平成22年までに300市町村の公表を目標としています。埼玉県ではまだ公表した市町村はありませんが、1番乗りする市町村はどこでしょうか？

### どうすれば、バイオスタウンになれるの？

市民がバイオスタウン構想の必要性を認識し、構想を策定する市町村に対し協力、支援することです。また、バイオスタウン構想の策定を支援する窓口として下記の協会があります。

社団法人日本有機資源協会

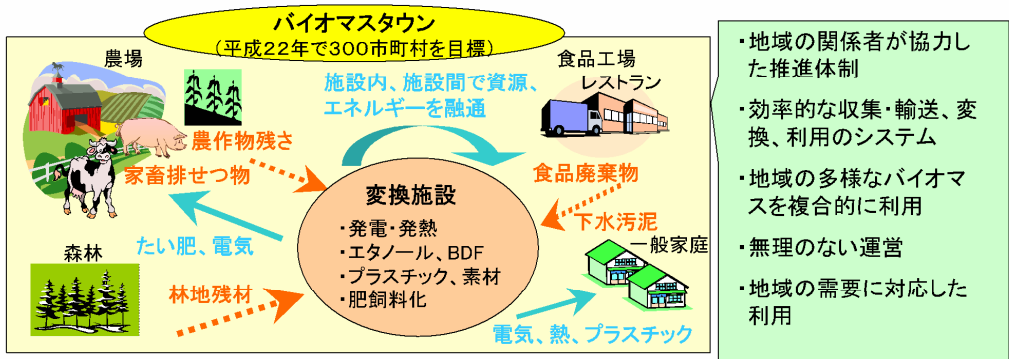
[http://www.jora.jp/txt/katsudo/ikusei/advise\\_r.html](http://www.jora.jp/txt/katsudo/ikusei/advise_r.html)

(文責 バイオスタウンアドバイザー 土田義三)

## バイオスタウンとは？

**定義**  
域内において、広く地域の関係者の連携の下、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われているか、あるいは今後行われることが見込まれる地域

市町村が中心となって、地域のバイオマス利活用の全体プラン「バイオスタウン構想」を作成し、その実現に向けて取り組む。



一部のバイオマスだけでなく、一部の人のみならず、  
**地域みんなで、地域のバイオマス全体を効率的に利用！**

農林水産省ホームページより引用

# HP協賛・ご紹介

このコーナーではホームページでのバナー協賛を頂いている企業の取り組みをご紹介します。

## ウエス屋

<http://www.uesuya.com/>

故繊維のリサイクル

各家庭から排出され回収された故繊維(古着や古布)は故繊維専門選別業者により分別されます。まだ服として着ることが出来る物は「古着」に、肌着やタオルなどの木綿素材は「ウエス」に、そのどちらにもならない物は「反毛材」というフェルトの材料になります。

リサイクルは回収され使われて初めてその輪が繋がります。しかし、回収された故繊維は綿に戻して糸に紡ぐことが出来ません。鉄や古紙と違って動脈産業の素材にはなれないのです。一枚一枚の古着や古布がまだ持っている能力を最大限に生かして再利用するしかありません。その意味で故繊維の再利用は「リユース」であると言ってよいでしょう。

「ウエス」のことをもう少し述べます。汚れた機械を拭いて綺麗にするウエスは日本の「物造り」を支える縁の下の力持ちの一つです。各家庭で何度も洗い込まれているからこそ余分な油分が抜けて吸収力の良い拭い布になります。そして何よりウエスとして再利用されなければただ捨てられる古着・古布を再利用する、つまりウエスは新たなゴミを生み出さないのです。ウエスは新たな資源消費が無く社会的コストを究極まで削減出来る環境配慮型商品なのです。

「古着」のことをもう少し述べます。そのごく一部が国内で販売されますが、大多数は海外に輸出されています。どの地域がどのような古着を求めているか熟知し、圧倒的な量の中からその地域・地域にあわせて仕上げています。多くのボランティア団体が直接古着を送る事業をしているとかがいます。しかしその活動はその苦勞の割に感謝されない・報われないと聞き及びます。私はその原因が送り手の思いと受け手の思いの違いによると思います。両者の間に故繊維業者が入ることでその両者の思いを一つに出来ると信じています。

今、故繊維業者の行く手に暗雲が立ちこめています。故繊維の自治体回収のおかげで原料が安く潤沢に原料を仕入れることが出来るようになり、それを原資にコスト引き下げ要求に対応してきました。しかしその安くて高品質な日本の故繊維原料が海外に流出し始めているのです。このまま放置すれば早晩日本の故繊維業者に原料が入らなくなります。それを防ぐために購入価格を引き上げる必要がありますが、残念ながらそのコストアップを吸収する体力はありません。ウエス価格等の引き上げをお客様に要望して参りますが、その道も平坦とは思えません。

苦闘の道は続きますがこれからも頑張っ参ります。

## ホームページ協賛

◀2008年4月~2009年3月▶

TOKYO GAS <http://www.tokyo-gas.co.jp/area/saitama/> ウエス屋 <http://www.uesuya.com/>

ゴトグループ <http://www.510goto.co.jp/index.htm> ㈱ショーモン <http://www.shomon.co.jp/>

産廃上手 <http://www.ntt-me.co.jp/sanpai-jaws/> 彩の国リサイクルデータバン <http://www.fuyo-hin.com/>

(株)読売旅行春日部営業所 <http://kasukabe.yomiuri-ryokou.co.jp/cat472657/index.html>

税理士法人 T&M ソリューション <http://www.consultant.co.jp/>

㈱珍来総本店 [http://www.chinrai.co.jp/chinrai\\_main.html](http://www.chinrai.co.jp/chinrai_main.html)

パレットモール HOP100 彩 <http://www.hop100.com/> タウンナビ埼玉 <http://www.townnavi.info/saitama/>

(社)日本青年会議所 関東地区埼玉ブロック協議会 <http://necco.info/> 順不同 ご支援ありがとうございます。

## アサザプロジェクト見学報告

2008年8月6日、環境ネットワーク埼玉主催の「アサザプロジェクト」見学会に参加した。

### ■ アサザ基金が立ち上がるまで

アサザは黄色の花が咲く小型の浮草で環境省の絶滅危惧種になっていて、そのアサザを利用して汚染した霞ヶ浦を再生しよう、というものである。

この計画は、飯島博さんと言う50歳代の方がNPO法人アサザ基金を1995年に立ち上げ、スタッフは20名程度で30歳代の方が殆どということであるが、数千人の人達の協力を得て活動しているところに特色がある。飯島さんは先ず霞ヶ浦を知ることが第一歩とのことで、「徒歩による霞ヶ浦一周」を、当時組織していた小学生の自然観察会のメンバーと共に四季の霞ヶ浦を1年間で4回以上、計2,000km以上歩いたそうである。



その中で、アサザの群落があるあたりは波が静かで砂浜があり、その岸には他の植物も多くみられたので、アサザを植えることにより他の植物も生え、自然を再生できるのではないかと考えて、アサザの里親制度を始め、いくつかの学校に呼びかけてビオトープを作ってもらい、アサザをはじめとする各種の植物の苗を育て、湖に戻すこととし、はじめは数校が賛同して協力していたが、今は170校以上が参加するようになった、とのこと。

始めのうちは折角湖に植えた苗が、風が吹いて波が荒れて流されてなくなることもしばしばあったようだ。そこで沖合に間伐材の杭を打ち込み、粗朶(木の枝など)を挟み込んで防波堤を作ったところうまく根付くようになった。

### ■ 国交省を動かす

このことを国交省に説明に行ったところ、35億円の予算を付けて間伐材によるやぐら造りを進めることにより、湖周辺の山林の手入れが進み、雇用も生まれ、活気あるプロジェクトが立ち上がった。私たちが見学したところは湖岸が緑におおわれ葦が生えて鳥なども多く、豊かな生態系を作っていた。

### ■ 谷津田(やつだ)での米作り

霞ヶ浦周辺には山林から多くの小川が流れ込んでいて、その周辺には小さな田んぼが散在している。これらの田んぼは「谷津田」と言って大型機械が入らないので次第に耕作放棄地が増え、荒れて水も腐敗しつつある。これらを再生するためにアサザプロジェクトは谷津田を幾つか耕作しているが、人手が多数かかる。そこで、ある大企業のレクレーションの場として、社員の家族が数百人、田植え、草取り、稲刈りなどに参加し、楽しみながら自然を再生し、人手を確保する、というユニークな活動を行っている。





# 環境講演会2008開催!

日時: 10月16日(木)午後1時30分

会場: 大宮ソニックシティビル708号室

受付1時10分より

テーマ

「埼玉県内ですすむ 環境保全型農業と食品リサイクルの今」

有機100倍運動の推進と循環型農業の実用生産技術の開発

申し込み締切 10/9(木) 定員39名

講師 \*埼玉県農林部農産物安全課 職員  
\*埼玉県農林総合センター戦略プロジェクト第2研究担当 相崎万裕美氏

詳細・お申込みは同封チラシをご覧ください。

## エコ・リサ 入会/会費のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークをつつてすすめています。

会費(年間) 個人会員 3,000円  
団体会員 5,000円  
賛助会員 10,000円 (1口)  
協賛バナー登録 50,000円 (年間)

活動活性化のため、エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。

また、今年度会費を未納の方はお振込みをよろしくお願いいたします。

\*振込み先・会費納入の際のご注意

郵便振替口座番号 00110-7-764571

加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559

名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

郵便振替で入金される方は、お手数ですが通信欄に新規会員あるいは〇〇会員〇〇年度分と明記の上、お振り込みをお願いいたします。(事務局)

事務所のご案内

〒330-0846

さいたま市大宮区大門町3-205新井ビル303号

(事務員は常駐しておりません、お問合せはFAX・メールをお願いします。)

FAX 048-642-6163 mail: ecorisa-npo@fuyo-hin.com

## 交流集会 2009 開催決定!

日時: 2009年2月19日(木) 午後1時より

会場: さいたま市文化センター(多目的ホール)

テーマ - 3Rでまちづくり- (仮称)

\*活動事例発表参加者を募集します。(20分程度) ごみを減らす・温暖化・見えるごみ、見えないごみ 町、ご近所、企業、個人、団体の各取り組みなど

締切 11/10 まで! エコ・リサ会員優先

申し込み・お問合せは FAX または mail で宮田まで

FAX 048-827-1268 アドレス ecorisa-npo@fuyo-hin.com

詳細は次号 65号でお知らせします。

## 編集後記

新コーナー満載の64号は如何でしたか? 暑さを乗り切り、虫の声を聞きながら、来年の事業の準備を始めている。

20回目となる交流集会への参加と情報をお待ちしています。 通信担当 宮田

\*\*エコ・リサ通信の今後の配信方法についてお尋ねします。\*\*

事務作業、省コストの点からmailのみの配信で構わない場合は「エコ・リサ通信mail配信希望」として ecorisa-npo@fuyo-hin.com まで氏名・アドレスをお願いします。